

2026年3月期 第1四半期決算概況

2025年7月29日



JFE システムズ 株式会社



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

Copyright© 2025. JFE Systems, Inc. All rights reserved.

2026年3月期 第1四半期 業績概要

- JFEグループ向けITインフラ・セキュリティ事業に加え、スマートソリューション事業、ERPソリューション事業が好調に推移。
- これら好調な事業が鉄鋼部門の減収影響を相殺し、全社として昨年度を上回る順調な業績を達成。

2026年3月期 業績見通し

- 基盤事業や外販ビジネスは1Qで堅調。前回見通しに織込みの水準で推移中。
- 鉄鋼事業の製鉄所システムリフレッシュの作業量減少の影響は1Qから顕在化。2Q以降も前回見通し並みの影響を見ておくべき状況。
- 全体として前回見通しに織込みの足元推移であり、前回公表どおり、前期比54億円の減収、営業利益で13億円の減益を見込む。

株主還元

- 24年度期末配当は、好調に推移した業績に従来の配当方針に沿った配当額として35.5円／株を決定し、支払い済み。中間配当25.5円と合わせ年間61円／株に増配。
- 25年度については、従来以上の積極的な株主還元を進めるべく配当性向方針を50%目途へ引き上げ、年間68円／株を予想。

CONTENTS

- 1. 2026年3月期 1Q業績04
- 2. 2026年3月期 業績見通し11
- 3. 株主還元16



1. 2026年3月期 1Q業績

報告単位(詳細)

鉄鋼

- JFEスチール、JFEグループ向けシステム開発
JFEスチールの生産・操業管理システム、および本社・JFEグループ各社 基幹・業務システムの構築・改善・運用・維持管理
- 製鉄所システムリフレッシュ(2026年3月期完了予定)
製鉄所操業の豊富なデータ資産活用を可能とする、JFEスチール DX戦略の柱となるシステム構造改革プロジェクト

デジタル製造

- データドリブン経営支援
SCMソリューション、DataOpsプラットフォーム構築、デジタルワークプレイスの提供

ERPソリューション

- 基幹システム構築
ERP(SAP社、Microsoft社)と自社開発のERPテンプレート群提供による基幹システム構築、およびBI/DWH構築

スマートソリューション

- パッケージシステム提供
自社開発(電子帳票・食品品質管理・原価管理・調達システムなど)およびアライアンスソリューションを、単独または組み合わせて提供

産業ソリューション

- 大規模製造業向け業務システム開発
製造業の豊富な業務知見に基づき、お客様ニーズに合った業務システムを構築

基盤

- ITインフラストラクチャの提供
クラウドサービス、ネットワーク構築、仮想化技術、情報セキュリティなどITインフラの提供

※ 子会社

JFEコムサービス(株) インフラ構築およびJFEグループ向けSI
IAFコンサルティング(株) 経営指標の可視化(BI)導入コンサル

2026年3月期 1Q決算概況(連結:前期比)

(百万円)	2025年3月期 1Q 実績	2026年3月期 1Q 実績	増減額	増減率
売上高	14,673	14,811	+138	+0.9%
売上総利益	3,323	3,682	+359	+10.8%
販売費及び一般管理費	1,996	2,029	+34	+1.7%
営業利益	1,328	1,653	+326	+24.5%
経常利益	1,359	1,685	+326	+24.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	862	1,097	+235	+27.2%
受注高	15,130	12,256	△2,874	△19.0%
受注残高	23,255	23,331	+75	+0.3%
ROE(自己資本利益率)	3.0%	3.3%	0.3ポイント	
EPS(一株当たり純利益)*1	27.4円	34.9円	+7.5円	

2026年3月期 1Q概況

(売上高、売上総利益)

- 売上高は前期比0.9%増と微増となるも、案件構成の変化が寄与し、売上総利益は前期比10.8%と大幅に増加。

(販売費及び一般管理費)

- 成長基盤強化のための積極的な人材採用を継続したことにより前期比1.7%増。

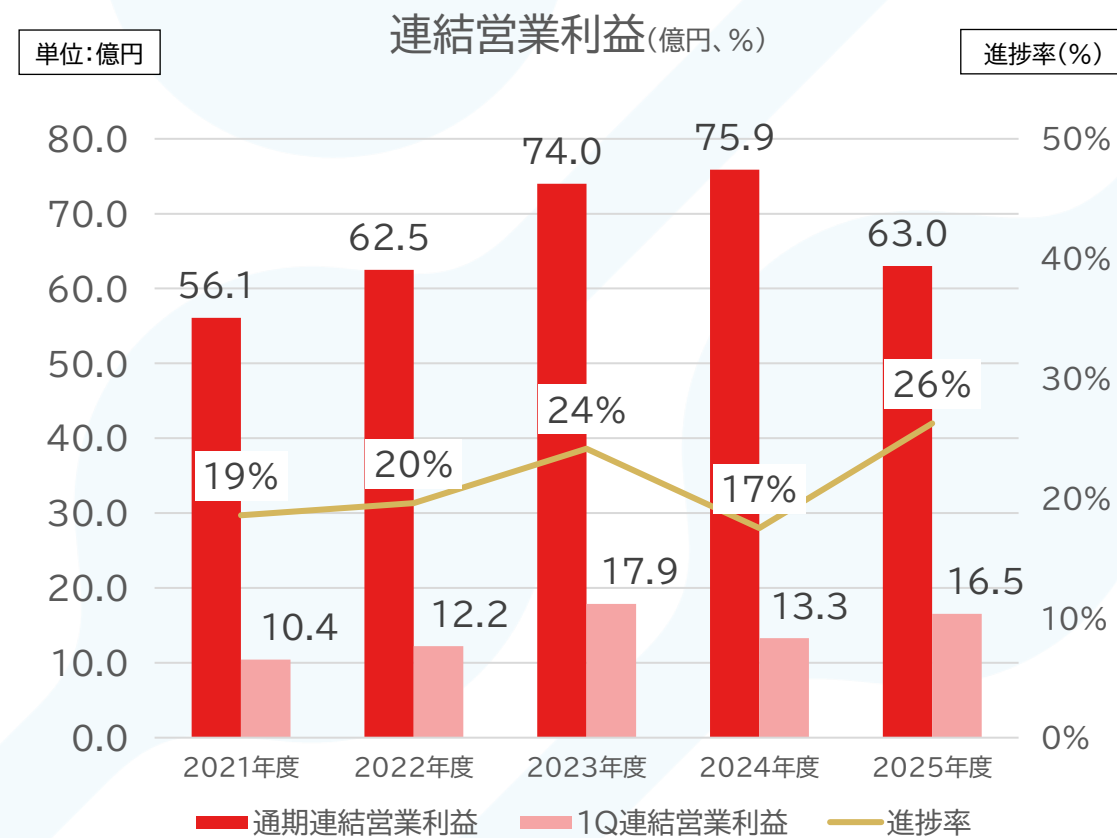
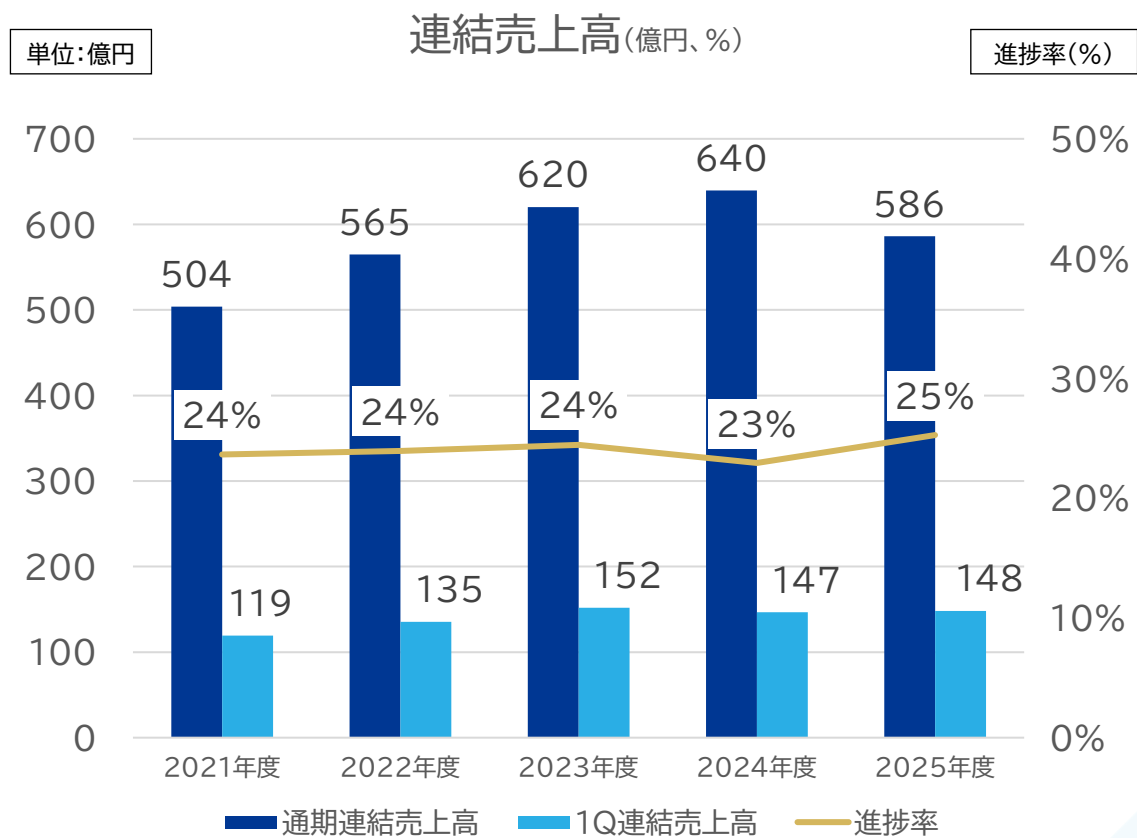
(営業利益)

- 売上総利益の向上が、営業利益を押し上げる結果となり、前期比24.5%の増加。

(※1) 1株当たり指標は、分割後の株数に換算
(2025/4/1に1:2分割を実施)

2026年3月期 1Q決算概況(連結)

(参考) 第1四半期進捗率の推移



2026年3月期 1Q事業別売上高(連結:前期比)

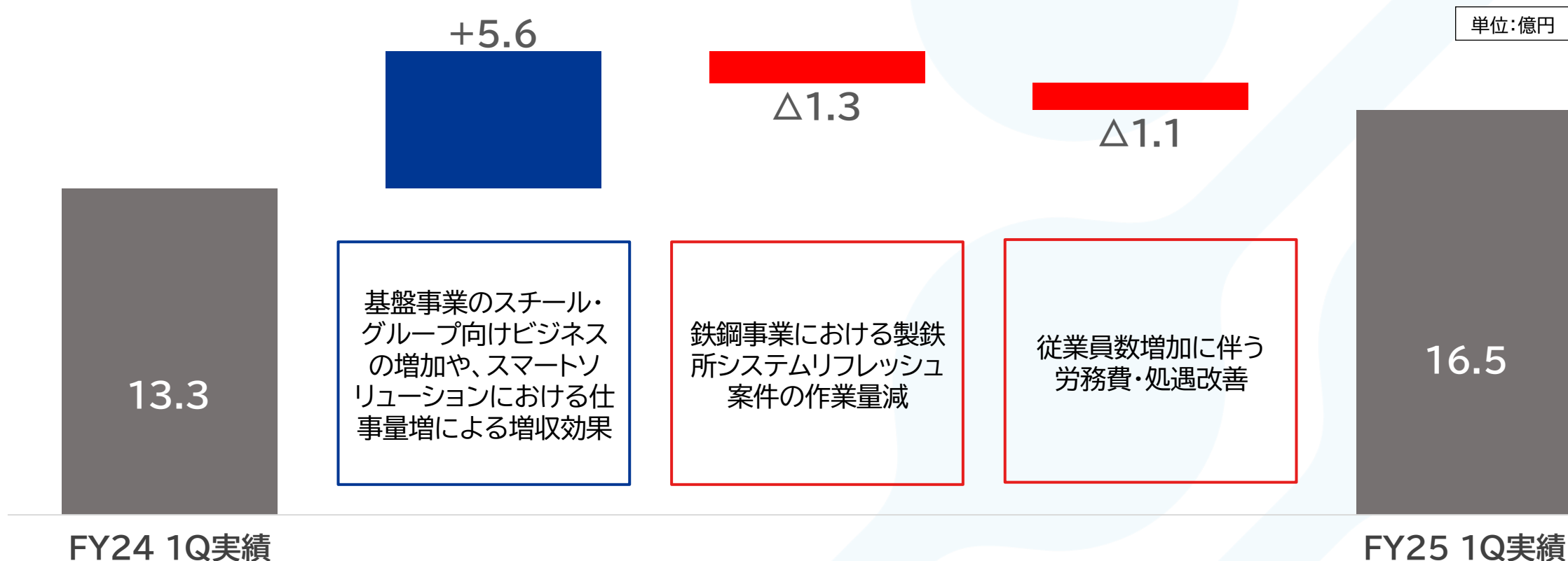
- 基盤事業やスマートソリューション事業の増収効果により、製鉄所システムリフレッシュの作業量減少による鉄鋼の減収影響をカバーし、昨年度比で増収を達成。

(百万円)		2025年3月期 1Q 実績	2026年3月期 1Q 実績	増減額	増減率	2026年3月期1Q 事業概況
売上高 *1		14,673	14,811	+138	+0.9%	
デジタル製造		421	513	+92	+21.8%	製造業顧客へのサプライチェーンマネジメントソリューション導入案件増加により増収
ERPソリューション		760	898	+138	+18.1%	製造業顧客向け、ERP導入案件の増加により増収
スマートソリューション		1,136	1,386	+251	+22.1%	人事・給与ソリューションの導入、更新案件の増加により増収
産業ソリューション		1,865	1,888	+24	+1.3%	製造業顧客向けの業務システム開発が堅調に推移
鉄鋼		6,899	6,736	△163	△2.4%	高い業務量が継続するも、製鉄所システムリフレッシュの作業量減少により減収
基盤		2,148	2,368	+221	+10.3%	JFEスチール、JFEグループ向け案件増
子会社		1,304	1,339	+36	+2.7%	2社ともに前年度並みで推移

連結売上高(*1)と各事業の売上高合計値の差の主要因は、会計処理による調整差額によるもの。

2026年3月期 1Q営業利益増減の要因(連結)

- 基盤事業等の増収と案件構成変化が寄与し、労務費・処遇改善等の費用増を吸収して、昨年度比で増益を達成。



2026年3月期 1Q連結貸借対照表(連結)

- 総資産は、前年期末比△74百万円の52,922百万円で微減。

単位:百万円

区分	2025年 3月期末	2026年 3月期 1Q	増減	区分	2025年 3月期末	2026年 3月期 1Q	増減
現預金	24,053	24,779	+726	流動負債	12,522	12,657	+135
その他流動資産	16,218	15,581	△637	固定負債	6,399	6,262	△138
流動資産合計	40,271	40,360	+89	負債合計	18,921	18,918	△3
有形固定資産	4,079	3,946	△133	株主資本	31,851	31,832	△18
無形固定資産	2,741	2,727	△15	その他の包括利益累計額	1,155	1,146	△9
投資その他	5,974	5,959	△15	非支配株主持分	1,139	1,095	△44
固定資産合計	12,795	12,632	△163	純資産合計	34,145	34,074	△71
資産合計	53,066	52,992	△74	負債・純資産合計	53,066	52,992	△74



2. 2026年3月期 業績見通し

2026年3月期 業績見通し(連結:前期比)

- 1Qは基盤事業や外販ビジネスにて増収。前回見通しにおける計画に対し順調な推移を見せている。
- 製鉄所システムリフレッシュの作業量減少の影響も1Qから顕在化。以降も前回見通しに織込んだ影響水準を見込むべき状況。
- 従業員増加や処遇改善、採用活動の強化、育成費用などの投資的経費も2Q以降継続的に増やしていく予定。
- 総合的に当初見込みどおりで推移しており、今期見通しは前回公表どおり、前期比54億円の減収、営業利益で13億円の減益を見込む。(2025年4月25日公表の連結業績見通しを再掲)

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し	増減額	増減率
売上高	63,972	58,620	△5,352	△8.4%
売上総利益	15,084	14,638	△446	△3.0%
販売費及び一般管理費	7,495	8,338	+843	+11.2%
営業利益	7,589	6,300	△1,289	△17.0%
経常利益	7,667	6,400	△1,267	△16.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,442	4,260	△1,182	△21.7%
ROE(自己資本利益率)	17.5%	12.6%	△4.9ポイント	
EPS(一株当たり純利益)*1	173.3円	135.6円	△37.6円	
DPS(一株当たり配当金)*1	61.0円	68.0円	+7.0円	
配当性向	35.2%	50.1%	+14.9ポイント	

2026年3月期 概況

(売上高)

- 鉄鋼事業の減収影響により、前年度比で8.4%の減収となる見込み。

(販売費及び一般管理費)

- 営業活動強化に伴う販売費の増加および、積極的な人材採用や育成・リスクリングなどの推進に伴う費用増加等の影響により、前年度比で11.2%増となる見込み。

(営業利益)

- 売上の減少に加え、成長基盤強化のために継続的な人材投資を増加させていることから、前年度比で17.0%減益となる見込み。

(※1) 1株当たり指標は、分割後の株数に換算
(2025/4/1に1:2分割を実施)

2026年3月期 事業別売上高見通し(連結:前期比)

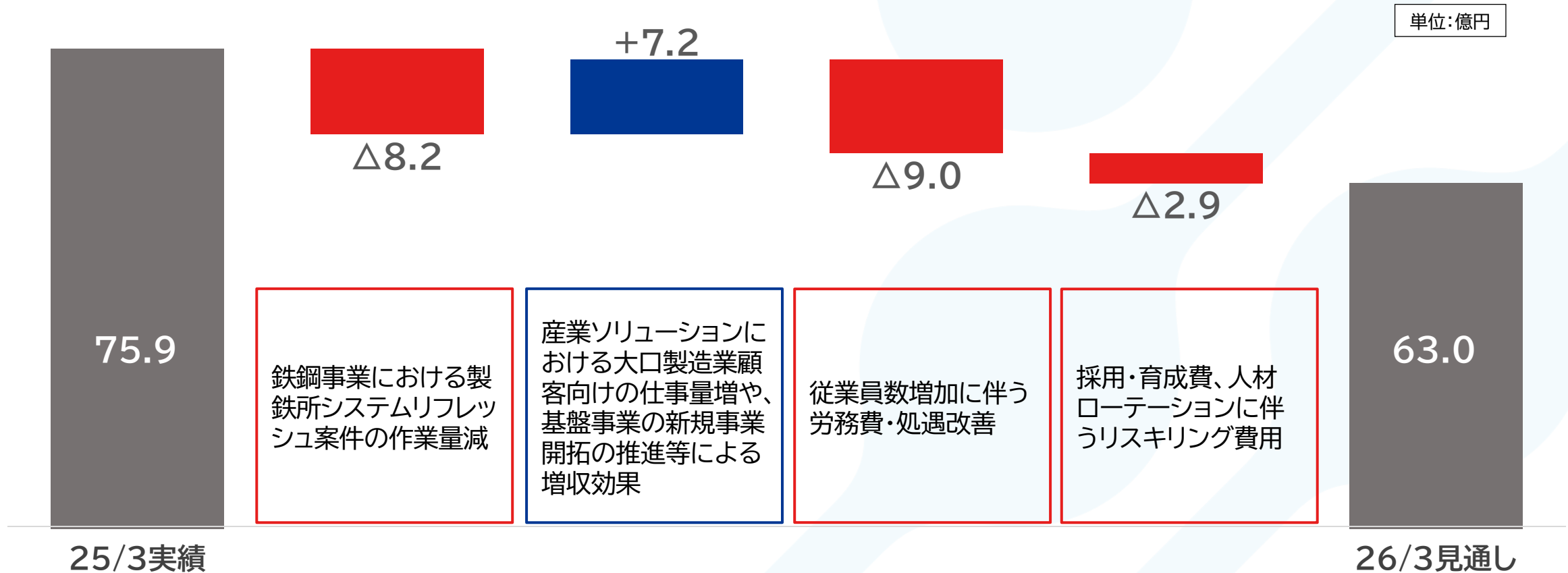
- 外販領域ならびに基盤では着実な増益を見込むが、製鉄所システムリフレッシュ(2025年度未完了予定)の作業量減少による減収影響により、2025年度は2024年度比で約54億円の減収となる見込み。

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し	増減額	増減率	2026年3月期 事業概況(見通し)
売上高 *1	63,972	58,620	△5,352	△8.4%	
デジタル製造	1,925	2,040	+115	+6.0%	製造業を中心とした、サプライチェーンマネジメントソリューション導入案件の獲得により事業規模を拡大する
ERPソリューション	3,139	3,857	+718	+22.9%	既存顧客の案件拡大に加え、ERPパッケージベンダーや、他社との連携により案件拡大する
スマートソリューション	5,238	5,510	+272	+5.2%	自社開発パッケージ商品等の販路拡大を継続
産業ソリューション	7,746	8,380	+634	+8.2%	自動車業界をはじめとする製造業の領域拡大を図り、増収を目指す
鉄鋼	30,328	22,375	△7,953	△26.2%	製鉄所システムリフレッシュの作業量減少により減収
基盤	9,444	10,051	+608	+6.4%	JFEグループ外ビジネスの拡大や、新規事業開拓を積極的に進め、事業規模を拡大する
子会社	5,737	6,407	+669	+11.7%	高水準の売上が継続

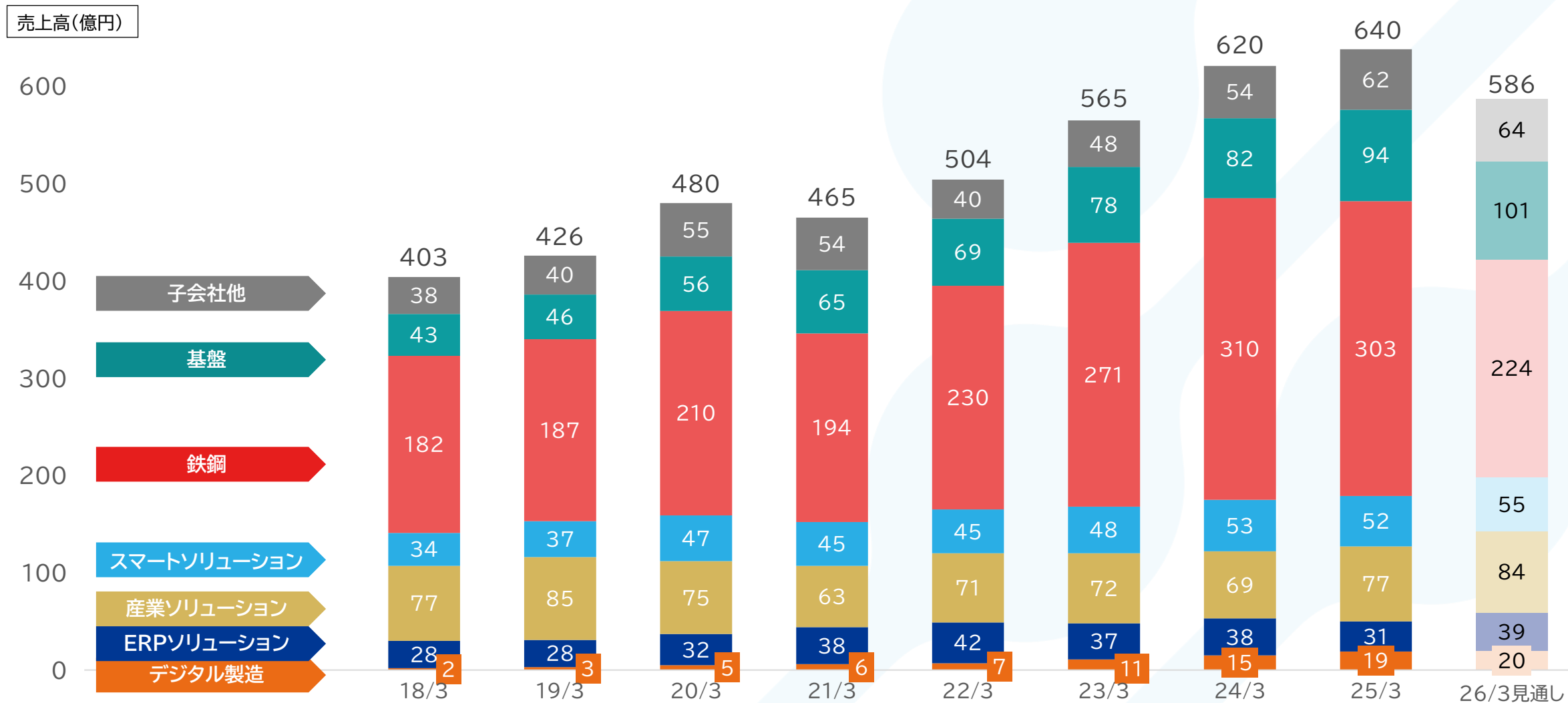
連結売上高(*1)と各事業の売上高合計値の差の主要因は、会計処理による調整差額によるもの。

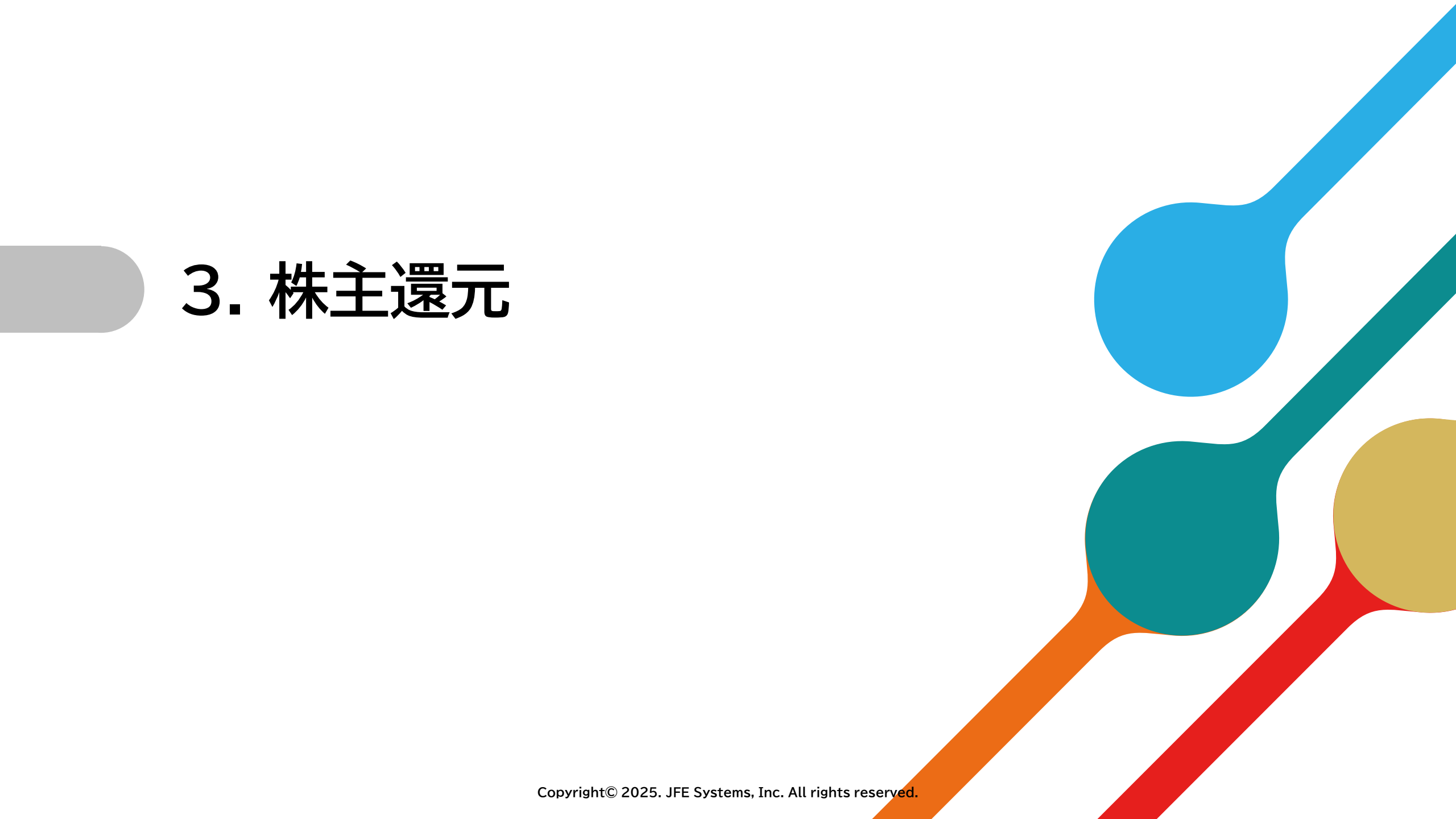
2026年3月期 業績見通し 営業利益増減の要因(連結)

- 鉄鋼事業の製鉄所システムリフレッシュ作業量減少に加え、処遇改善や人材ローテーション費用の増加により減益の見通し。



参考: 報告単位別売上高推移(連結)

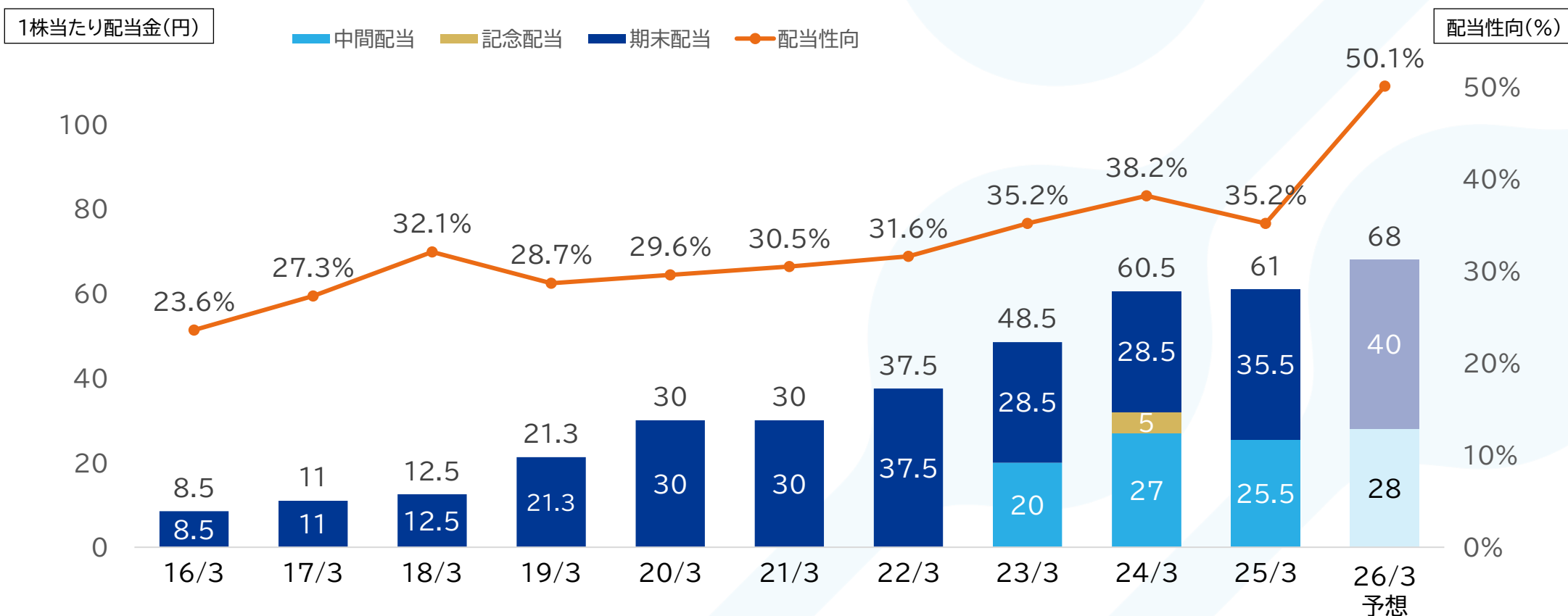




3. 株主還元

株主還元

- 前中期経営計画では、「配当性向35%目途」に配当を実施。
- 24年度期末配当は、好調に推移した業績に従来の配当方針に沿った配当額として35.5円／株を決定し、支払い済み。中間配当25.5円と合わせ年間61円／株に増配。
- 新中期経営計画では、「配当性向50%目途」に利益水準、再投資計画、財政状態等を総合的に勘案して利益配分を行う。





スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

ご注意

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。



JFE システムズ 株式会社